

立憲民主党 さっぽろNEWS

第1回定例市議会

全議案可決し、閉会 2025年度予算が成立



市長提出議案に対し賛成討論を行うたけのうち市議

第1回定例市議会は3月28日、2025年度各会計予算案や札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例案など32議案を原案通りに可決、3月31日で退任する町田隆敏副市長と石川敏也副市長の後任に、山本健晴総務局長と加藤修市長室長を選任する人事案に同意し、閉会した。開業の大幅な遅れが生じる見通しとなった「北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）」の建設促進を求めるなどの意見書案5件も可決した。

秋元市長3期目の任期折り返しを迎える25年度の当初予算案は、子ども・子育て支援のさらなる拡充やGX産業の集積と金融機能の強化集積に向けた取り組み、人手不足が深刻化している業界への支援などを重視し、一般会計の総額は前年度比2%増の1兆2666億円。喫緊の課題と位置付ける公共交通ネットワークの維持と路線バスの運転手確保に向け、2月28日に可決した24年度一般会計補正予算分を含めて計29億5900万円を計上した。

共生のまちづくり条例案は民主市民連合などの賛成多数で可決し、4月1日に施行された。条例では、共生社会を「差別や偏見がなく、誰もが互いにその個性を尊

重され能力を発揮できる、多様性と包摂性が強みとなる社会」と定義。共生社会の実現に向け、3つの基本理念と、市の責務、市民・事業者の役割を明確化し、市の施策の基本事項を定めている。

議案の採決に先立ち、たけのうち有美市議（中央区）が市長提出議案に賛成の立場で討論を行い、「厳しい財政状況の中、限られた資源を効果的に配分し、自然豊かで魅力ある、このまちを持続可能な形で引き継いでいくための予算案になっている」と評価した。

市議2人に返還等を求める決議 政務活動費の不適正支出

28日の本会議で、旧日本維新の会23年度交付分の政務活動費の執行を巡る市議会の調査結果を受け、不適正な取り扱いを行った荒井勇雄市議と坂元みちたか市議に対し、猛省や返還などを求める決議案を可決した。

荒井市議に対する決議では、使用実態がほとんどない事務所の賃料を政務活動費で支出するなど、「議員として公費を扱う責任感が欠落していると断ぜざるを得ない」「（市議会が行った）調査に際して虚偽とみられる説明をしたほか、事実確認をせずに説明し、矛盾点を指摘されると発言を撤回するなど、自身の説明責任を果たす意識が欠如した不誠実な対応が散見された」などとし、謝罪・猛省、新たに不適正と判断された政務活動費を会派として返還することなどを求めた。

坂元市議に対する決議では「年度内履行が不可能なことを分かっているながら、業務委託費を前払いした上、金額の妥当性の確認に必要な見積書や履行の担保となる契約書などの挙証書類を作成していなかった」「会派の代表者かつ経理責任者という立場にありながら、政務活動費の支出について、領収書の確認のみで支出を決定しており、支出の必要性や妥当性を確認することを怠っていた」などと指摘。「不適正な支出について既に全額を市に返還していることを考慮しても許されるものではない」と断じ、猛省や会派内の管理体制を見直すことなどを求めた。

経済産業局や各種団体と意見交換 道議や札幌市議らが参加

立憲民主党北海道連は3月31日、札幌市内で経済産業省北海道経済産業局との意見交換会を実施した。

逢坂誠二代表は冒頭のあいさつで、「国民の命や暮らしを守る予算は地域に絶対必要」と表明。また、農業と教育の分野で党の提案により予算が拡充されてきた経過に触れ、「どうやって北海道経済産業局が所管する政策を後押しすることができるのか、意見を交わしたい」と述べた。

この日は、同局の担当者から半導体・宇宙・GXに関する政策の説明を受けた後、ラピダス社の経営の透明化、PFAS(有機フッ素化合物)に対する懸念と対策、半導体政策に伴う道内各地への経済波及効果、民間事業者への支援の在り方、理系人材の確保、GX政策による外国人材の活用、水素戦略の在り方など、幅広い項目

で意見を交わした。

道連は7日にも、北海道中小企業団体中央会など道内7団体との政策懇談会を開催。参加した議員から、法改正に向けた関係法案の動向や説明が行われたほか、寄せられた意見を踏まえ、今後の政策議論に反映していくなどと決意が述べられた。

また14日には、北海道漁業協同組合連合会や北海道農業協同組合中央会をはじめとする各種団体(6団体)との意見交換会も実施。道産ホタテの北米への販路拡大に取り組んでいた矢先に、トランプ米政権による相互関税が発動され、大きなダメージを受けることが想定されるといった懸念が示されたほか、政府備蓄米放出の効果や米の流通の在り方など、さまざまな意見が寄せられた。



北海道林業協会・北海道木材産業協同組合連合会より要望書を受け取る逢坂代表ら

各会を通じて、逢坂代表(道8区)や荒井ゆたか衆院議員(道3区)、池田まき衆院議員(道5区)ら道内選出の国会議員をはじめ、松山たけふみ道議(豊平区)、山根まさひろ道議(北区)、小野正美市議(手稲区)、おんむら健太郎市議(清田区)、うるしはら直子市議(白石区)、森基誉則市議(厚別区)らが参加した。



連合(05)の日街宣

街頭で決意訴える

連合北海道札幌地区連合会(吉田賢一会長)と立憲民主党札幌支部(菅原和忠代表)による「連合(05)の日街宣」が4月4日、札幌駅前通(南1西3)で行われ、「政治が大きく変わり始めている。今夏の参院選で自公政権をさらに追い込みたい」と力を込めた。

街宣には、連合の組合員とともに、東区選出の渕上



道政・市政報告を行う議員たち

綾子道議とふじわら広昭市議、厚別区選出の松原淳二市議と森基誉則市議、西区選出で札幌支部幹事長の中村たけし市議が参加。「物価高騰で国民の負担は厳しさを増している。暮らしを豊かにする政治を皆さんと一緒に実現したい」と訴えた。

告知

第96回全道メーデー大会

労働者の祭典「第96回全道メーデー大会」が5月1日に開催される。今年のメインスローガンは「次代につなぐ 平和の願い！みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来(あした)を！」。このスローガンのもと、「働くことを軸とする安心社会 一まもる・つなぐ・創り出す」の継承・深化に向け、社会的うねりを呼び起こす運動を展開することの意志統一と社会的発信の場として開催する。

■第96回全道メーデー大会

5月1日(木) 9時30分 開会(オープニング)

10時00分 式典開会予定

11時00分 閉会、パレード行進

■会場/大通西8丁目広場